

令和5年第1回定例会(令和5年3月7日)

厚生環境教育委員会委員長 (荒金 卓雄 委員長)

去る3月1日の本会議において、厚生環境教育委員会に付託を受けました「議第1号 令和4年度別府市一般会計補正予算(第11号)」関係部分、ほか13件について、委員会を開会し、慎重に審査をいたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

初めに、「議第1号 令和4年度別府市一般会計補正予算(第11号)」関係部分についてであります。

各課主なものとして、市民課関係部分においては、戸籍法の改正に伴う戸籍事務内連携により、相互に他市区町村の戸籍情報の検索や参照を可能とし、届出書や戸籍の全国広域交付に対応する仕組みを構築するための委託料について、予算執行見込額を精査し、減額補正するものであるとの説明がなされました。委員から、戸籍が全国の自治体の窓口でもらえるようになるのかとの質疑があり、当局から、令和6年3月から住んでいる自治体の窓口で他自治体が本籍地でも戸籍の証明が取得できるようになるとの答弁がなされました。

続いて、高齢者福祉課関係部分については、養護老人ホームの生活扶助費の決算見込により、2,893万6千円増額補正するものであるとの説明がなされました。委員から、養護老人ホームの定員は決まっているのに、なぜ増額するのかとの質疑に対し、当局から、視覚障がいや聴覚障がいのある方は、市内に対応施設がないため市外の施設に入り、市内の施設に空きがあれば、市外からの入所があり、人数の変動があるためとの答弁がなされた次第であります。

次に、ひと・くらし支援課関係部分では、医療機関でマイナンバーによるオンライン資格確認を行うためのシステム改修の整備費等委託について、全額国庫補助により実施するものであるが、国から仕様が公開されず、執行できないため、280万5千円を繰り越すとの説明がなされました。委員から、生活保護受給者のマイナンバーカード保有率と取得への広報の方法についての質疑に対し、当局から、取得率は38.6%であり、広報については、パンフレットを作成する予定であるとの答弁がなされました。

続きまして、障害福祉課関係部分では、地域生活支援事業費等補助金の額の確定により、財源補正として特定財源4,608万9千円を減額計上し、同額を一般財源として増額しているとの説明がなされた次第であります。

続いて、子育て支援課関係部分では、事業実績に基づく当初見込み額を減額及び追加補正するものであるとの説明がなされました。委員から、令和4年10月から始まっている市町村民税課税世帯の小中学生の子ども医療費助成につい

て、利用者は増加しているのかとの質疑に対し、当局から、対象者の9割を超える受給資格者証が交付されているとの答弁がなされました。

次に、健康推進課関係部分についてであります。

令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の額確定に伴い、国庫返納金5億5,615万円を計上しているとの説明がなされました。委員から、返納金が多くなっているのは、ワクチン接種者が見込みより少なかったためかとの質疑に対し、当局から、当初令和3年4月から12月までを見込み申請したが、補助金対象が7月分までと変更となり、8月以降分が余剰のため返納となったためであるとの答弁がなされました。

続いて、保険年金課及び介護保険課関係部分について、各特別会計の決算見込みにより、歳入歳出予算の計数整理をしているとの説明がなされた次第であります。

次に、スポーツ推進課関係部分については、市営青山プールのろ過装置改修業務において、機材等の納入遅延により、年度内の完了が見込めないことから、未執行額796万4千円を繰り越すとの説明がなされました。

続きまして、教育政策課関係部分については、図書館等一体的整備に要する経費において、国の補助金の額確定による国庫支出金と地方債を674万1千円増額し、基金繰入金を同額減額する財源補正をするとの説明がなされた次第であります。

最後に、社会教育課関係部分について、令和2年10月より休所中の少年自然の家おじかにおいて、基本計画策定委託業務を一般競争入札により公告したが、入札不調となり、再度公告し、年度内での事業完了が見込めないことから、事業費2,200万円を繰り越すとの説明がなされました。

その他、関係各課から、国庫補助金などの額の確定に伴う事業費の減額等、決算見込みによる歳入歳出予算の計数整理等を計上している旨の説明がなされた次第であります。

次に、特別会計では、決算見込みによる歳入歳出予算の調整等として、「議第2号 令和4年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）」では、一般被保険者の療養費の不足見込みによる増額補正等を計上しているとの説明がなされ、また、「議第3号 令和4年度別府市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）」では、利用者が見込みを下回ること等により予算を減額し、「議第4号 令和4年度別府市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」では、額の確定により基盤安定繰入金を減額したことにより、広域連合に対する負担金も減額補正するものであるとの説明がなされました。委員より、後期高齢者医療被保険者数について質疑があり、当局より、令和3年度の平均は2万393人であるとの答弁がなされました。

以上4件の予算議案の採決におきましては、当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、6件の条例議案及び4件のその他議案についてであります。

初めに、「議第24号 別府市学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正について」では、別府市学校給食共同調理場の建替えに伴い、条例名称中「別府市学校給食共同調理場」を「別府市学校給食共同調理施設」に改め、その名称及び位置を定めるため、条例を改正するものであるとの説明がなされました。委員から、学校給食センターの工事の進捗状況についての質疑に対し、当局から、令和5年6月完成予定で順調に進んでいるとの答弁がなされました。

次に、「議第27号 別府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」から「議第29号 別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」までの3件は、いずれも基準の一部改正に準じ、安全計画の策定等が規定されたこと等に伴い、条例を改正するものであるとの説明がなされました。

続きまして、「議第30号 別府市子ども・子育て支援法に基づく過料を定める条例及び別府市子ども・子育て会議条例の一部改正について」では、法律が一部改正されたことにより、条例を改正するものであるとの説明がなされた次第であります。

続いて、「議第33号 別府市印鑑条例の一部改正について」では、法律の一部が改正されたことに伴い、利用者証明用電子証明書について、スマートフォンに組み込まれた電磁的記録媒体に記録するものが規定されたことにより、条例を改正しようとするものであるとの説明がなされました。委員から、マイナンバーカードがあればコンビニで住民票等交付できていたものが、電子証明書が入ったスマートフォンでも可能になるのかとの質疑がなされ、当局から、法改正により令和5年5月から可能になるよう準備をしているとの答弁がなされた次第であります。

次に、「議第36号 工事請負契約の締結について」では、別府市屋内運動場等空調設備整備事業について、工事請負契約を締結するため、条例の規定により、議会の議決を得ようとするものであるとの説明がなされました。委員から、なぜ予定価格を事前公表することに決定したのか、事前公表することで予定価格に近い金額で競い合うことになり、入札価格が高止まったのではないかとの質疑がなされ、当局から、別府市契約事務規則第40条第1項のただし書きを準用し、かつ本事業は市の重点事業であり大型事業であるため、別府市建設工事競争入札参加資格審査委員会に諮り、入札の公告をし、品質確保のため事前公表を行なった。県内でも多くの自治体が予定価格を事前公表しており、最低制

限価格も設定し、事後公表しているとの説明がなされました。

続いて、「議第 37 号 公の施設を他の普通地方公共団体の住民の利用に供することに関する協議について」及び「議第 38 号 他の普通地方公共団体の公の施設を本市の住民の利用に供させることに関する協議について」では、地方自治法の規定に基づき、協議により別府市立図書館を大分都市広域圏を構成する大分市ほか 5 市 1 町の住民が利用できるように、また、大分都市広域圏を構成する大分市ほか 5 市 1 町の図書館を本市の住民が利用できるように、議会の議決を求めるものであるとの説明がなされました。

最後に、「議第 41 号 別府市営セーリング艇庫の長期かつ独占的な利用について」では、別府市営セーリング艇庫を大分県セーリング連盟に令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで長期かつ独占的な利用をさせることに伴い、議会の議決を求めるものであるとの説明がなされました。

以上 10 件の議案の採決におきましては、「議第 36 号 工事請負契約の締結について」は、一部の委員から反対する旨の意思表示がなされたものの、賛成多数により原案のとおり可決し、その他 9 議案につきましては、当局の説明を適切妥当と認め、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で、当委員会に付託を受けました議案に対する審査の経過と結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。